

第6回 鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2025年2月12日（水） 9：30～11：00	
開催場所	町田市立鶴川第二小学校 ランチルーム（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	中岡委員、金井委員、三浦委員、豊田委員、今野委員、吉川委員、廣田委員、夏目委員、市川委員、◎鰐坂委員、○安部委員、内野委員 （◎会長、○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

はじめに【学校教育部長 挨拶】

学校教育部長 本日が今年度最後の協議会となる。委員の皆様におかれては、2023年5月に協議会を設置してから全6回の協議会にご出席いただき、忌憚のないご意見をいただきながら、議論していただいたことに感謝申し上げます。

この鶴川東地区では、昨年度末に計画スケジュールの変更を行ったため、今年度は、鶴川東地区基本計画の修正などを皆様と議論させていただいた。

来年度、2025年度は、通学に関することを中心にご意見を頂き、統合に向けて議論しながら進めていきたい。

本町田と南成瀬地区では、この3月末に引っ越し、来年度の4月に統合校がスタートする。新たな学校づくりが実際に動き始めている。鶴川東地区においても引き続き、新校舎で子どもたちが教育を受けられるようになるまで、協議会において保護者代表の方や地域代表の方、学校代表の方々と本事業の進捗状況を確認していくとともに、必要な意見交換を行わせていただきたいと考えている。

引き続き、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げ、御礼とさせていただきます。

1 第5回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1 説明）

2 鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画の修正について

新たな学校推進課 （資料2-1、2-2 説明）

委員 鶴川東地区延期の理由をもう少し詳しく説明してほしい。

施設課 鶴川東地区の新校舎の設計を進める中で、学校北側にある斜面の擁壁について、東京都が指定する土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーンについて解除する必要がある事が判明し、擁壁の安全性を確認する中でも、改修の必要性があるといった判断で、擁壁を改修する形になった。

その中で擁壁を改修するための設計期間や工事期間が必要になり、統合時期ないしは新校舎の使用開始時期が延期となった。

3 報告事項

(1) 鶴川東小の設計状況について

施設課 (資料3-1)

委員 ②番の緑のところが学童クラブとのことだが、送り迎えの車の想定はあるか。

施設課 学童の送り迎えでは、車を利用する方もいると思う。その場合も、駐車場を設けており、その中で送り迎えができるようにと考えている。車両門の駐車場を基本的に使っていただき、東側の空き地も活用できればと考えている。

委員 その際、児童との接触がないような配慮があるのか。

施設課 安全第一に考える必要があるので、動線についても検討を行っている。

委員 広場門と書いてあるところが、児童がメインで出入りするところか。

施設課 その通り。現在、交差点のある辺りは門がないが、検討している中では、歩車分離という観点で、車の動線と児童の動線なるべく分けたいと考えており、広場門の赤い点線辺りを門にしていこうと考えている。

委員 結構この通りは車通りが多いので、門を開ける時間が遅くなるとそこに児童が溜まるなど心配なところはある。

施設課 こちらの門も実際にはもう少し溜まりを設けるなど、児童が安全に登下校できるよう配慮していきたい。

委員 バスや自転車も結構通る時間帯なので、どんな感じに子どもたちや車、自転車が動いているのかを実際に確認してから、溜まりの広さ等を考えてほしい。

委員 現在、学童が使っている斜面のところを通る細い通路があるが、今の右上の白い部分の学童の施設が建っている部分が駐車場になるのであれば、擁壁の部分を下りてくるような構造になるか。

施設課 空き地側を一時的な駐車場として活用する場合、学童動線が必要になってくるので、通行できる道というのでも検討をしている。

委員 車両門下の緑のゾーンは何を表しているのか。

施設課 ここは、学校の敷地となっているが、斜面が大きく樹木がたくさん生えている。

委員 では、そこは雑木林のままになるのか。

施設課 基本的に地形が斜めになって、勾配も急になる。あわせて、東京都の自然保護条例で敷地内に緑地帯を設けることが必要になってくる。緑地帯としてここを活用していきたいと考えている。

委員 今、車が入る門があるが、門を開けるときに車が一時停止しているスペースが道路より中に入ったところにある。そういった一時停止できる場所は作るのか。

施設課 車両門は、現在の車両門と同じような位置に配置しており、駐車場に入って、その奥のところもいくつか門を設ける予定で、車が滞留しないような形を考えている。

現在と同じで、車を停車させて門を開けて入る。管理上、門を設ける。来校者が、インターホンなどで、学校に確認してから入るなどセキュリティを考えている。

委員 車両側と校庭の間に、児童と車の接触を防ぐための壁ができるのか。

施設課 壁というよりは、フェンスなどを検討している。

- 委員 正門を通過して校舎内に入るのに、スロープを通らないということになるのか。
- 施設課 門から児童が入り、校舎に行くためにはどうしても高低差がある。今の第2グラウンドの辺りと、そこから校舎の方に下りていく必要があるの、そこがスロープになっている。
- 委員 スロープの幅はどのくらいか。
- 施設課 検討中だが、福祉のまちづくり総合推進条例や法令関係に合致するようにし、あわせて、児童が多く出入りするの、幅は十分に確保したいと考えている。
- 施設課 (資料3-2説明)
- 委員 足場設置は6月からか。
- 施設課 実際の期間は契約してから工事業者が作成した工程表をもとに学校と調整していくが、6月から足場の設置を想定している。
- 委員 6月から足場設置で、実際の作業はどの辺の時期になるのか。その辺は、計画的に通知してもらえるのか。
- 施設課 大きな音が出る作業については夏休みや冬休みを活用し、学校運営上支障がないよう調整していく。あわせて工程表も作成する。
- 委員 鶴三小が鶴川中央小になって、学童の児童数は倍になる。現在も視聴覚室を使っている状況かと思うが、今後、学童の児童数は増えている現状にあって、今の学童の広さで収容可能なのか。あと、お手洗いの数も少ないのではないか。
- 施設課 現在の視聴覚室は会議室に転用するが、学童とのタイムシェアを考えている。実際、図面では今の1階をタイムシェアと記載をしている。どうしても学童を利用される方が多くなるので、バランスを見ながら運営を進められるよう整備をしていく。
- トイレについてはこの学校は、元々各階に4か所トイレの配置はあるので、足りていると考えている。
- 委員 鶴三小校舎は使用期間が延びると思うが、耐震などは大丈夫なのか。
- 施設課 建築基準法が改正された際に、耐震についての考え方が大きく法改正された。その際にも建物をまず確認し、その後、耐震改修も一部している。町田市内の全ての学校は、改修するなどして地震への安全性を確保している。そういった面で安全性は十分確保できていると考えている。
- 委員 鶴三小と鶴四小が統合する時期の学校運営に関して、校長や教科担任の兼ね合いというのはどうなっているのか。
- 新たな学校推進課 教員人事の配置については、東京都に人事権がある。市は統合に際しての教員配置の人数や、両校の比率など、統合に際して配慮してほしい旨の依頼をしている。
- また、今後、学校統合に向けて校長と教員配置や具体的な人事も相談していきたい。子どもたちが混乱しないよう、できるだけ配慮していきたいと思っている。

(2) 学校統合時に在籍する児童（在校生）への特例措置について

学務課 (資料3-3説明)

- 委員 鶴川東小になるとき、今の三輪地域の児童はそのまま三輪小を卒業するという考え方で間違いはないか。校舎ができた後も、そのまま三輪小に残れるということか。
- 学務課 入学時から三輪小学校に入学していただいた方は、卒業まで三輪小学校に残り続けることができる。
- 委員 既存の通学区域緩和制度と何が違うのか。また、学校が減るという中で、逆に緩和する必要があるのではないかと。中学も含めてだが、あまり起きてはいけないうじめの問題があったときに、逃げ道があるほうが良い。
- 学務課 まず、既存の通学区域緩和制度だが、対象が新入学のお子さんだけになっているので、小学校に入学する前年度に年長の児童に選択していただく制度になる。
- 今回新たに設けた特例措置は、既に通っている児童が在学中に、統合が起きることで別の学校に転校することも、残ることも、どちらも選択できるという制度になっている。
- 委員 では、既存の制度もまだ残るのか。新入学のときには選べるのか。
- 学務課 もちろん、新入学の通学区域緩和制度自体はそのまま残る。学校統合もあるので、入学前に別の学校に入学したいという希望に対して、柔軟に、受入枠自体はなるべく確保できるように努めていく。
- 委員 気になっていたのは、今の鶴川一丁目、広袴の部分の統合によって、鶴三小に通っている児童が鶴川東小にも行けるようになるということだが、友達関係でその児童がそのまま鶴川中央小に残りたいということもある。そうすると通学範囲がかなり遠くなることが想定される。今の鶴川一丁目から鶴川中央小に通っても大丈夫ということなのか。
- 学務課 鶴川東小学校に分割される地域の子たちが鶴川中央小に通うことについて、通学の安全の確保についてはこれから検討させていただく。可能な限り児童の安全確保に努められるように通学路の確認等をさせていただければと思う。

(3) その他報告

新たな学校推進課 (資料3ー4説明)

委員 地域の話だが、地域の部屋が1部屋造られる想定だが、それは現在の市民センターや町内会館などの位置づけなのか。

新たな学校推進課 新しく建設する学校には、コミュニティルームといった場所を使って、地域の方々が集まれる場を学校施設の中に入れていこうと考えている。現在、鶴川市民センターなどにあるコミュニティルームと同様の意味合いになるが、学校の中に造るという意味では、より教育活動に特化した、例えば、ボランティアコーディネーターがやられている地域の皆様をお迎えする部屋が学校にはないので、そういった部屋に活用していただきたいと考えている。

委員 もう少し詳しく説明してほしいのは、教育関係に関わる内容でないと駄目なのか、そうでなくても平気なのかという部分を知りたい。

新たな学校推進課 実際に今、運用という部分では、ルールの設定、例えばどんな団体が活用できるの

か、団体登録が必要なのかを生涯学習部で考えている。その部署とも我々は連携を取りながら、どんな施設にしていくかを考えており、ルール設定については今後調整させていただきたい。

委員 地域に活用を促していくことで、セキュリティ面をきちんとしていただきたい。普通教室などの学校専用区画と動線を区切るとあるが、動線を区切るだけで本当に安全なのか、全く立ち入れないような状況になるのか教えてほしい。

施設課 現在、セキュリティについても検討を進めている。実際には、学校運営の時間帯と、放課後の時間帯、地域開放の時間帯というのがあり、重なってしまう部分はある。その中で動線をまず区切ろうというのが1つ。あとは、動線といっても、どうしても重なってしまうところについては時間帯を分けて、安全上、確保できるように、物理的に区切るなども検討をしている。

新たな学校推進課 補足しては、市役所の電子錠ロックがある。そのような方法やシャッター、フェンスなどの物理的に入れなくするというやり方もある。何かしらの対応で動線を区切る認識でいていただければと思う。

新たな学校推進課 （資料3－5説明）

新たな学校推進課 （資料3－6説明）

4 委員あいさつ

委員 今の1年生以下で、ちょうど工事期間中に小学校生活を送ることになる学年の親御さんからは、いまだに批判的な意見も出ているし、当事者である子どもたちも、今はまだ小さいが、学年が上がるにつれて、そのうちきっといろんなことを思うようになると思う。そんな学年の子たちにとって、この統合がマイナスの思い出だけで終わることのないように、例えば、その学年のときにはPTAで特別なイベントを企画したりとか、記念品を豪華にしてあげたりとか、何か工夫を凝らして、最終的には鶴二小と鶴三小、両方の学校に通ってラッキーだったねと思ってもらえるぐらいに皆さんと協力して、安心安全、かつ楽しい学校づくりを目指していければなと思っているので、今後とも、どうぞよろしくお願いしたい。

委員 うちは、今1年生の子と、今度の4月に年少になる子どもがいて、この統合に関わるのだが、最初は、正直あまり興味がないというか、ああ、そうなんだぐらいだったが、こういうふうに会議に出て、やはり心配なこともあるし、子どもたちがまだ全然、特に1年生の子なんて分かっていないと思うのだが、5年生ぐらいから多分鶴三小に移動するので、今度こっちの学校に通うんだよというのをちょっとずつ伝えて、不安がなく過ごせるように私も意識しようかなというふうに思った。

今後とも、よりよい学校になるようにお願いしたいと思う。

委員 私も同じで、統合の進捗状況とかというのは、こういう委員に参加させていただかなければ、あまり気にしなかったというか、そのまま来てしまったのかなと思う。今回、新しい鶴川東小学校の校舎図などを見させていただいて、具体的な、自分の子どもがこういうふうに通うんだなということをイメージしながらお話を聞くことができたので、とても貴重な経験になった。ありがとうございました。

委員 私は鶴川冒険遊びの会の代表をしていて、現在、鶴三小の子が主に来ていて、大蔵小、鶴二小、鶴四小の子も来ている。多分、鶴三小と鶴四小が統合する時期に鶴四小の子が全部こっちに来てしまうと、ものすごい量の子どもが鶴川中央公園を歩いていくという状況で、揉め事が発生する可能性が高くなるかなということがある。

そんなことで、中央公園に遊びに来る未就学児の親御さんとたまに話すことがあって、学校統廃合について聞かれることがある。未就学児の、まだ小学校に入る前の、引っ越してくるような親御さんが公園に来て、そういった部分でちょっと聞かれるので、ある程度、知識として知っておきたいな、説明できないと安心してここに越してこれないのかな、新たに越してくる人に向けて、そういった説明がちゃんとできているのが望ましいかなと思っている。いろいろとありがとうございます。

委員 鶴三小の学校協力者代表として出させていただいている。

今、学校運営協議会の委員と「まちとも」のボランティアをやっている。子どもたちが本当に楽しく、不登校にならずに通学できるような学校ができたらいいなと思っている。私も皆さんのこれらの案に対して非常に期待できるというふうに思っているので、これからもよろしく願いしたい。

委員 私はこの学校に勤務して4年目となる。やはり4年勤務すると愛校心が生まれるというか、なくなると思うと、ちょっと寂しいなと思うが、ただ、そうは言ってももう決まっていることなので、やはりプラス思考に考えていくということが一番大事なので、何かをやるときは必ずメリット、デメリットがあるので、メリットのところを考えて進んでいくことが大事かなと思っている。

そのためにも、通学路とかいろいろな課題とか、もっともっと深く見ていけば見直さないといけないところはあると思うので、小さなことでもどんどんこういう場で意見を伝えて改善していくことが、きっと子どもたちのためにつながっていくと思う。まだ先かなと思っていても、結構あっという間に時間というのは来るので、今後も皆さんの貴重なご意見をこういう場でいただいていくということが大事だと思うので、また来年度以降も、どうぞよろしくお願いしたい。

委員 私は今年度着任して、ここの会に出させていただいているが、新たな学校というのは、町田市内でここだけではなくて幾つもできる。その中で、どこも同じ課題は出てくると思うが、なくなるという部分は、大切に残すべきものは残してという部分

がありながら、やはり新しくつくっていくというところで、何かやってもらうというよりは、自分たちで何ができるんだろうかというのを、学校は学校運営という立場で、また、保護者の皆様は保護者の皆様の立場で、地域は地域、役所は役所の立場で何ができるんだろうかという、力を合わせてやっていかなければいけないんだなということを改めて思っている。

まだ具体的な課題、向き合っていかなきゃいけないことは幾つもあると思うが、そういう気持ちでまた来年度につなげられればと思う。今後もよろしくお願いしたい。

委員

地域代表ということで参画させていただいている。

今日いろいろお話を伺ったり、質問を聞いて、今後6年間、統合というのは、つくづく大変なプロジェクトだなと思う。いろんな利害が絡み、いろんな検討事項も多い。そういう調整をやっていただいている市のご担当には、本当に地域のためにご努力いただいている、ありがたく思っている。今後6年間、ご苦労かけると思うが、できるだけ協力させていただくので、よろしくお願いしたい。

委員

この会には、鶴川第二小学校の学校協力者代表ということで出席させていただいている。

まず、昭和39年に、私はこの鶴川第二小学校の1年生として入学した。その学校が、今60年の歴史と伝統がある学校が、母校が消えてしまうということは本当に残念だ。でも、前にも説明会のときにお話しさせていただいたが、そのとき鶴川第二小学校ができたということは、それまでは鶴川第一小学校しかなかった。それが今はもう6つ、7つと、鶴川地区も小学校がたくさん増えた。それは人口の増加とともにということだったが、これからは町田市も全国的な少子・高齢化の波が押し寄せてきて子どもの数も減ってしまうということで、これは市の事業としてやらざるを得ない事業なんだと思う。

なので、学校と、市役所も含めて、地域と子どもたちと、やっぱりよい、素晴らしい統廃合というか、前向きな統廃合になっていけば、私はすてきな地域になるのかなと思っているので、いろいろ課題はあろうかと思うが、ぜひ皆さんで力を合わせて成し遂げていただければありがたいと思う。

委員

私も数年前から、市のほうから、こういう統廃合のスケジュールがあるよとお知らせ、お手紙を頂いて、目を通してはみるが、何年度、何年度、何とか小学校と、集中して読まない全然理解ができなくて難しかった。ただ、こういう貴重な機会をいただけて自分事として理解がとてもしやすかったし、参加させていただいたことで、ほかの保護者の方とも話す機会がすごく増えたと思っている。

真ん中の子がちょうど2026年度に6年生になるので、学校、どっちに分かれるみたいなのところを今後決めていかなきゃいけないが、そういったことに関しても、ほ

かの保護者の方とも、どっちに行くのって聞いたりとか、そういったことの話ができるように自分自身がなったこともありがたい経験だったと思っている。うちは子どもの年が離れているので、小学校に16年間お世話になることになるが、子どもたちが安心安全な学校生活が送れるために、市の方、学校の先生方だけでなく、地域の方たちがこれだけ真剣に考えてくださっているということを知ることでもできたのも、とてもありがたい貴重な経験だったと思えた。ありがとうございました。

委員

鶴川第三小学校の保護者代表をしているが、もう子ども2人は無事卒業させていただいて、下の娘が今、真光寺中学校に通っている。

私自身が鶴四小の卒業生、娘と息子が鶴三小で、あんなに仲の悪かったこの学校たちが合併するという、私の時代では考えられないようなことが起きていて、また、子どもと私の母校が一緒になるというのが、ちょっと感慨深いなというところがある。

とにかく自分たちが過ごしてきた小学校の時代とは考えられないような課題がたくさんあるので、本当にたくさんの人数の方が関わって、安全とか、こんなに配慮して、きっと前につくった小学校も、皆さんそうやって悩んで悩んでつくったんだろうと思うが、技術の進歩が全然違うので、安全ですてきな小学校ができたらいいなと心から思っている。鶴川地区に2年間は何か貢献できればと思っている。どうぞよろしくお願いしたい。

委員

この会議の鶴川東地区と鶴川西地区、両方ともいつも会議に出させていただき、もう4年が過ぎようとしている。そして、今、仮設計みたいな形になるが、本当に設計された新しくすてきな学校ができるまでにはまだまだ時間がかかる。その間に子どもたちが本当にたくさん幸せだな、楽しいなと思える学校運営をしていくのが私たちの務めと思っている。まだ会議は続くので、今後ともどうぞよろしくお願いしたい。

新たな学校推進課 次回協議会は2025年7月9日（水）9：30～

開催場所は鶴川第二小学校のランチルームを予定している。

会長 （閉会の挨拶）